

伊勢本街道 (三重県津市美杉町)

～石名原宿・奥津宿・多気宿～

大和国と伊勢神宮を結ぶ伊勢本街道は、南北朝時代以後、伊勢国司北畠氏が現在の津市美杉町の多気に館を構え、城下を形成したことや、近世以降の伊勢参宮者の増加に伴い、多くの人々がこの道を利用しました。現在も津市美杉町の旧宿場町である石名原・奥津・多気地域には道標や常夜灯、古い街道の街並みが残り、かつての賑わいを今に伝えています。



ミツマタ群生地(石名原)



道標 (石名原)



名勝北畠氏館跡庭園



伊勢奥津駅の給水塔



多気宿の雪景色

伊勢本街道を活かした地域づくり協議会は、おもてなしの心で「伊勢本街道を通し、美杉の自然と歴史・人の温もりにふれる癒しの郷づくり」をテーマに地域住民と行政が協働でボランティアガイド、イベント開催、案内マップ作成、案内看板、修景整備などに取り組んでいます。

お問い合わせ・ガイドのお申込み

伊勢本街道を活かした地域づくり協議会

〒515-3531 三重県津市美杉町奥津 1288-1

電話 059-212-0168 (津市伊勢奥津駅前観光案内交流施設ひだまり)

津市美杉町にお越しの際は、伊勢本街道の街並みなどのガイドを是非当会にお申込みください。

※ガイドは事前予約が必要です。